

connect

[コネクト]

第12号

令和7年1月

医療の“いま”、病院の“いま”を
お伝えします。



2025年に向けて



公益社団法人昭和会 理事長 今給黎 和幸

いまきいれ総合病院 院長 濱崎 秀一

診療支援部門、患者支援部門、医療安全管理部門、看護部門、事務部門

- [NEWS] 地域社会に貢献
- [TOPICS] 黎和塾2024 ～ムーンショット～ ほか

つながる医療 つながる生命



公益社団法人昭和会 IMAKIIRE GENERAL HOSPITAL

いまきいれ総合病院

いまきいれ総合病院 2025年に向けて



理事長
今給黎 和幸

院長
濱崎 秀一

新年あけましておめでとうございます。2025年の幕開けにあたり、職員の皆様、そして地域住民の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

昨年2024年は、元旦早々に能登震災が発生し、多くの方々の命と生活が危機にさらされました。当院からも迅速にDMATチームを派遣し、被災地支援に取り組みましたが、この経験を通じて医療機関としての使命を改めて実感することとなりました。また、8月には南海トラフ地震臨時情報が発表され、災害に対する備えと事業継続計画(BCP)の重要性を再認識する年でもありました。私たちは、いかなる状況においても地域の皆様の命と生活を守る存在でなければなりません。

そのような中、昨年は荒田校区コミュニティ協議会との包括連携協定を締結し、地域共生社会の構築に向けて大きな一歩を踏み出しました。この協定は単なる医療提供にとどまらず、地域全体の安全・安心を支える取り組みとして、私たちの「地域になくてはならない医療機関」というビジョンを具体化するものです。今年も地域の皆様と共に手を携えながら、より良い社会の実現を目指してまいります。

一方で、私たちを取り巻く外部環境は依然として厳しい状況が続いています。診療報酬改定の影響に加え、賃上げ要求や円安、光熱費・物価高騰などの経済的要因が病院経営に大きな影響を与えています。また、少子高齢化や人材不足といった医療全体の構造的課題も深刻です。この難局を乗り越えるためには、全職員が一致団結し、それぞれの立場で力を尽くすことが必要不可欠だと思います。

2025年は、こうした課題に対し、より積極的に対応していく年としたいと考えています。当院の理念である「協力、貢献、向上、教育」を改めて胸に刻み、収支改善に向けた取り組みを加速させるとともに、職員一人ひとりが当事者意識を持ち、日々の業務に全力を尽くすことで、組織全体の力を高めてまいります。また、地域住民の皆様との絆を一層深め、医療と地域が一体となった強固な基盤を築いていきたいと思ひます。

困難な状況が続く中ではありますが、私たちは希望を持っています。それは、職員の皆様一人ひとりの献身的な働きと、地域の皆様から寄せられる信頼と支援です。この強い絆こそが、私たちを支える原動力です。今年も全員が力を合わせ、次の世代に誇れる病院を築いていきます。

2025年が職員の皆様、地域の皆様にとって希望と成長の一年となりますよう心より祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

2024年は4月から開始された『医師の働き方改革』と6月から運用された『診療報酬改定』が病院運営にとっては大きな出来事でした。デジタル化の推進とサステナビリティの追求により医療も予想以上の速さで変化しています。

『医師の働き方改革』を契機に他職種の働き方改革にも改めて眼を向けようと業務改善プロジェクトが立ち上がり各部署の業務内容の再点検が行われました。働き方と休み方の改善を全職種で積極的に取り組み、業務効率化のための種々のシステム導入を積極的に行い、ワークライフバランスを考慮した働き方に配慮しています。『医師の働き方改革』に関し、タスクシフトとチーム医療の推進、効率的なICTの活用を通じて病院運営の効率化を目指していきたいと考えています。

2024年の『診療報酬改定』は6年に1回のめぐり合わせとなる医療・介護・障害福祉のトリプル改定の年でした。『治し・支える医療』がテーマとなっており、急性期から生活期まで俯瞰的に見据えて地域医療を考える必要に迫られています。一方、国は2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築をめざしていましたが、殆んど実現していないのが実情です。鹿児島県では高度急性期・急性期・慢性期の減床と回復期の増床が傾向としてみられますが、鹿児島県は今でも人口当たりの病床数は全国2位と極めて多い地域です。2025年以降は医療需要の減少が予想される中、需要予測をした上で残すべき医療内容を見極める必要があります。少子高齢化問題への対策として2024年3月に『新たな地域医療構想』が策定されました。今後予想される軽症・中等症を中心とする高齢者救急の増加に対しては、回復期病棟も急性期病棟の一部を担うことが求められ、早期離床・早期退院・早期在宅復帰を目指すために早期からのリハビリ介入が促進される一方、在宅医療需要の増加が見込まれることより入院医療だけでなく、外来・在宅医療ならびに介護との連携を含めた医療提供体制全体の見直しも求められています。今後は、全ての医療をひとつの医療機関で提供する事は非効率的であり、医療機関の機能を分担し連携を進めることが重要になってくると思ひます。

いずれにせよ、2025年は決断の年になりそうです。地域医療構想を視野にいれ、昭和会が地域でどのような役割を担っていくか進路選択を決断する必要に迫られる年になると思ひます。

患者さんにとっても職員にとっても満足度の高い医療機関になれるように前向きに進む一年でありたいと思ひます。本年も皆様のお力添えをお願いいたします。



診療支援部門

- 部門長 小倉 芳人(診療部長)
 - 副部門長 兒島 邦幸(リハビリテーション課 療法士長)
- 薬剤課、中央放射線課、中央臨床検査課、
リハビリテーション課、栄養管理課、臨床工学課、病理課、
歯科口腔外科、診療補助課

専門性を活かした
多職種連携と
医療充実の
サポートを目指す

医療安全管理部門

- 部門長 岩川 純(副院長)
 - 副部門長 千田 清美
(医療安全管理課課長)
- 医療安全管理課、感染管理課、褥瘡管理課



お互いを尊重して繋がる
コミュニケーションで
最良の
チームパフォーマンスを
発揮しよう!

事務部門

- 部門長 御供田 貴之(事務長)
 - 副部門長 末吉 保則(事務次長)
- 人事総務経理課、医事課、診療情報管理課



WE CAN
CHANGE!
YES WE CAN

患者支援部門

- 部門長 今給黎 尚幸(副理事長)
 - 副部門長 原口 一博
(入退院支援センター長)
- 入退院支援センター



地域と連携し、
入院から退院まで、
効率的で質の高い
支援を提供します

看護部門

- 部門長 近藤 ひとみ(看護部長)
- 副部門長 藤山 みどり、河原 尚美、
上山 真紀(看護副部長)



有効な病床
コントロールの実現
データを活用した
看護サービスの提供
多様な人材との協働

NEWS

地域社会に貢献

公益社団法人昭和会の理念のひとつは「地域貢献」です。
地域に根ざしたまちづくりの一環として、合同防災イベント、健康
教室を開催いたしました。

開催日 / 2024年11月23日(土)

合同防災イベント

荒田校区コミュニティ協議会とヒューマンライフ協議会(公益社団法人昭和会、医療法人玉昌会、南国ホテルズ株式会社)は、住民の災害への備え、防災意識の向上を図るため、初の合同防災イベントを行いました。
当日はキラメキテラス街区合同防災訓練も行われ、荒田校区の方々もトリアージ訓練に参加しました。
防災訓練の他に、鹿児島市危機管理課 職員による市政出前トークや8・6水害をはじめとした各種パネル展示や防災用品の紹介など、多彩な防災展示・体験コーナーが設置されました。
そのほか、災害派遣医療チームでもある救急科 西山医師の防災講座やドクターカーの見学・体験コーナーもあり、大人から子供まで多くの方が興味を持って参加されました。
地域の皆さんがこの訓練に参加し、防災に関する知識を深め、災害時の備えについて意識を高めていただいた1日となりました。

開会式 / 鹿児島市危機管理課職員による市政出前トーク / 防災パネル展示

開会式では、ヒューマンライフライン協議会(昭和会理事長)今給黎会長、キラメキテラスヘルスケアホスピタル 田島副院長が挨拶を行いました。
また、パネル展示のほか、簡易トイレ、段ボールベッドの組み立て使用体験なども行いました。



キラメキテラス地区合同防災訓練 / トリアージ訓練

いまきいれ総合病院正面玄関前で医師がトリアージを行い、緑タグ(軽症)の方はキラメキ南国ビル2階へ、黄色タグ(中等症)は1階のフロアへ移動。赤色タグ(重症)の方は救急外来へ搬送します。



キラメキエネルギーセンター・キラメキ南国ビルパーキング見学

キラメキエネルギーセンター
環境への配慮と防災性を備えたエネルギープラント。住宅棟を除く、キラメキテラス内の建物へ電気と熱源を供給しています。



キラメキ南国パーキング
街区内の建物と2階レベルでつながっており、鹿児島市より津波避難ビルの指定を受けています。



防災講座 / 閉会式

救急科部長 西山淳医師による講演「能登半島地震被災地における活動をふり返って」、荒田校区コミュニティ協議会 鮫島会長の挨拶をもちまして、防災イベントは閉会となりました。



開催日 / 2024年11月10日(日)

あらたんの市の市(荒田小学校PTA主催バザー)に参加

「あらたんの市の市(荒田小学校PTA主催バザー)」でドクターカーの展示を行いました。

子供たちにドクターカーを可能な限り間近で見て触って関心を持ってもらうこと、また地域のみなさまに当院を知ってもらうことをコンセプトに職員3名が参加。開始直後から親子連れや子供たちが集まり、胸骨圧迫体験を始めるとさらに賑わいを見せました。DMATの隊服を着用しての体験は大変好評で、絶え間なく人が訪れ、また、ドクターカー運転席試乗体験も行いました。医療ドラマさながらの体験に子供たちは夢中で、「山Pになれるかな?」という会話が聞かれ、成功に終わりました。バザーへの参加は、地域の方々との交流を深め、地域貢献につながる大切な活動です。子供たちや保護者の皆さまに私たちの活動を知っていただき、地元に根ざした信頼関係を築く良い機会となりました。



荒田校区コミュニティ健康教室

- 開催日……2024年12月6日
- 場所……サンエールかごしま
- 参加人数…33人

荒田1丁目、2丁目、高麗町地区を中心とした荒田校区コミュニティ協議会の健康福祉部会は、年に4回健康教室を開催しています。

今回は、血管外科 科長 平林医師による講演「下肢静脈瘤ってどんな病気?～フットケアを添えて～」と、リハビリテーション課スタッフによる運動講座を行い、地域住民40代～80代の33人が参加しました。

講演後のアンケートでは、多くの参加者から「わかりやすく勉強になった」「楽しい時間だった」と感想をいただきました。特に、下肢静脈瘤に関する説明や治療、セルフケアについての話が役立ったという声が多くありました。



INFORMATION

内科 浮腫(むくみ)外来開設のご案内

上町いまきいれ病院では、むくみ外来を開設しました。いまきいれ総合病院 血管外科の平林医師が担当いたします。

○診療日…毎週水曜日 14時～16時30分(予約不要)

上町いまきいれ病院

鹿児島市長田町5番24号 TEL: 099-222-1800

担当医 平林 葉子 医師

- 日本外科学会外科専門医
- 日本静脈学会評議員
- 日本脈管学会脈管専門医・指導医
- 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施医・指導医
- 弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター
- 産業医



医療機関のみなさまへ

“浮腫(むくみ)”を起こされている方で、心臓、腎臓、甲状腺に問題がないにもかかわらず、お困りの方はいらっしゃいませんか?

最近では、自宅で座っている時間が長い方に起こる浮腫も多くみられます。浮腫の治療には、内科的治療のほか、圧迫療法、運動ストレッチ、下肢の挙上、マッサージ、皮膚ケア、さらには生活習慣の改善が必要になる場合があります。

また、下肢静脈瘤が浮腫の原因となっているケースも少なくありません。原因が特定できない浮腫でお困りの際は、「むくみ外来」へご相談ください。

黎和塾2024 ～ムーンショット～

経営方針(戦略)の共有、また公益社団法人の今後のベクトルを合わせるため、管理職を中心としたトップからの発信を目的とした「黎和塾」。今年は12月16日に開催いたしました。

今給黎和幸理事長は12月までの振り返りと2025年度の分析と取り組み、2025年度のスローガン「変革の3I」の発表を、いまきいれ総合病院 濱崎秀一院長、上町いまきいれ病院 丸山芳一院長はそれぞれの病院の振り返りと次年度の目標などを発表しました。



2025年度スローガン

変革をみんなで成し遂げよう!

- 変革の3I
- I Innovation (革新の推進)
 - I Intelligence (知識とデータの活用)
 - I Inclusion (包摂性と多様性)

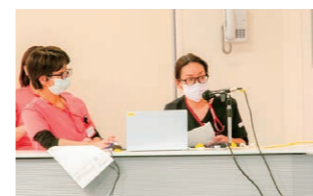
第4回院内発表会

毎年テーマを設け、職員が発表を行う院内発表。テーマは2024年度のスローガン「3R Redesign・Reduction・Reskilling」でした。

テーマに沿ったもの、部署の取り組みなど、口頭発表が7演題、ポスター発表が27演題ありました。

口頭発表
7演題

- 心理的安全性を高め働きやすい環境づくりに繋げる
- 「何か変?」から「何が変!」へ
～KIDUKIからつながる取り組み～
- 診療記録開示 業務改善報告 ～削減と再設計～
- 救急外来におけるRedesign
～救急救命士が加わる新たなチーム再設計～
- 一人の患者として早期にPHR導入を切望します
～画像診断部門のICTへの取組をふまえて～
- 患者・職員にやさしい環境作り
～その動線どうにかせんと～
- 「トリセツ」を活用した教育計画について



口頭発表者によるシンポジウム

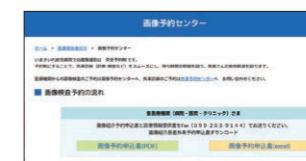
ポスターを院内に展示

いまきいれ総合病院ホームページトップリニューアル

患者さんのご紹介がよりわかりやすく、スムーズに行えるように、ホームページのトップページをリニューアルしました。

- 外来予約センター、画像予約センターの電話番号をわかりやすく表示
- 紹介患者外来予約申込書をサイトトップにもリンク

患者さんのご紹介時にご利用ください。



※紹介患者外来予約申込書(PDF/word形式)は、サイトトップと外来予約センター、画像予約センター内からダウンロードできます。



下へスクロール

令和7年度 地域がん診療連携拠点病院 県民公開講座

『自分らしく生きて死ぬために』

講師
上野千鶴子氏
(社会学者)

令和7年

4 / 19 (土)

14:00~16:00
(受付13:30~)

鹿児島市中央公民館
(鹿児島市山下町5-9)

入場無料

定員400名
(申込先着順)

ご好評につき定員に
達したため、募集を
締め切りました。
たくさんのご応募あり
がございました。

PROFILE

上野千鶴子氏

1948年富山県生まれ。
京都大学大学院社会学
博士課程修了。社会学
者・東京大学名誉教授・
認定NPO法人ウイメン
ズアクションネットワー
ク(WAN)理事長。



公益社団法人昭利会 IMAKIIRE GENERAL HOSPITAL
いまきいれ総合病院

〒890-0051 鹿児島市高麗町43番25号
TEL: 099-252-1090 FAX: 099-203-9119
<https://imakiire.jp/>



当日入院の
ご依頼(緊急)

医療機関専用緊急ダイヤル 救急患者のご紹介(24時間対応)

TEL: 099-203-9115

医療連携全般の
お問い合わせ

地域医療連携室

TEL: 099-203-9110 FAX: 099-203-9101 月~金曜日 8:30~17:00

翌日以降の
診療予約

外来予約センター 診療予約・予約変更

TEL: 099-203-9100 FAX: 099-203-9101 月~金曜日 9:00~17:00

画像検査の
ご予約

画像予約センター

TEL: 099-203-9102 FAX: 099-203-9144 月~金曜日 9:00~12:30 / 13:30~17:00

昭利会理念

協力

貢献

向上

教育



関連施設 上町いまきいれ病院

〒892-0854 鹿児島市長田町5番24号
TEL: 099-222-1800 FAX: 099-226-3366
<https://kanmachi.imakiire.jp/>



いまきいれ子ども発達支援センター

関連施設 まある

〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目15-3
TEL: 099-202-0325 FAX: 099-202-0326

